

## 目標達成計画

作成日：平成22年5月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	個々の職員のスキルの差が、入居者の混乱を招くことがあります。	入居者の状態を把握した上で、職員の一定した対応により落ち着いた、より安全に生活していただく。	2ヶ月に1回勉強会を行う。認知症について改めて理解を深めたり、介護技術の向上を目的とした研修。特に入居者個々の身体状態に合わせた介護技術の習得。また、今年度共通目標として「安心と安全の介護・責任ある行動・笑顔で挨拶」を掲げ毎日朝礼で唱和しています。	6ヶ月
2	10	運営推進会議にご家族様の参加が増えたことにより、ホーム運営についてのご意見がいただけるようになりました。当ホームとご家族様との関わりはもっと深めることができると思います。	ご家族様との関わりを深め、より良いホーム運営を行っていききたい。	ホームからの一方的なご連絡のみで終わらないようにする。イベントへ参加していただけるよう呼びかけを行う。運営推進会議の内容を詳しく報告し、参加を呼びかける。現在より一人でも多く参加していただけるようにしたい。できれば家族会を結成したいと思います。	12ヶ月
3	36	馴れと親しさの区別の認識について個人差があります。	入居者の対応について職員の質を高める。	全職員が共通の認識を持つために、職員会議で話し合いを行います。その後、言葉遣い、対応方法について、勉強会の中で習得していききたいと思います。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。